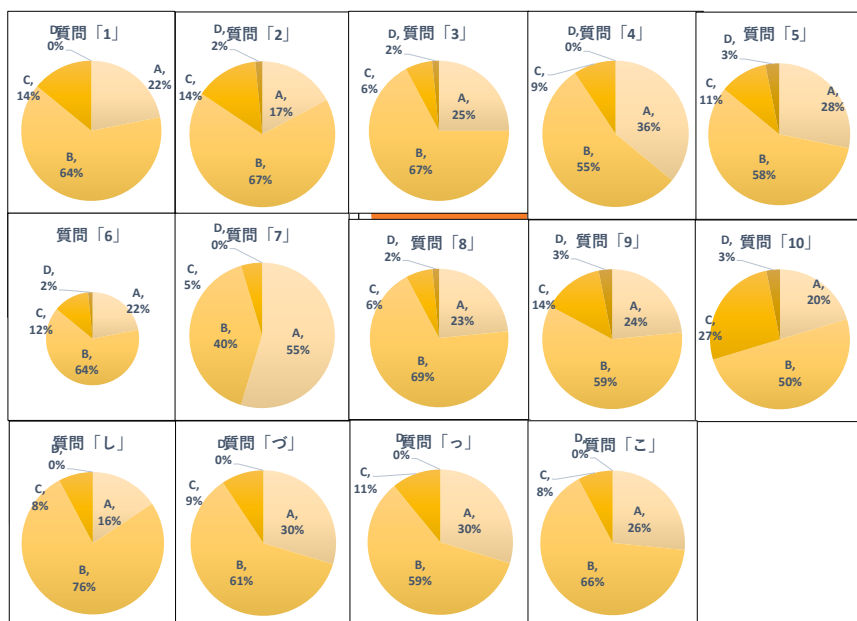


令和2年度 学校評価について

【学校全体】

評 価 項 目	
質問「1」	学校は、いじめの予防、早期発見・早期対応に努めている
質問「2」	学校・家庭（保護者）・地域の連携が図れている
質問「3」	学校と、家庭で安全面での必要な連絡を取り合っている
質問「4」	学校だより・学年だより等各種たより、ホームページ、保護者会、メール配信などによって、必要な情報が得られている
質問「5」	学校は、子どもや保護者からの相談の機会を設けている
質問「6」	校舎内外の安全が確保されている
質問「7」	子どもは、楽しく登校している
質問「8」	学校は、子どもを大切にされた教育をしている
質問「9」	教室や廊下の掲示物から、子どもの学習や活動の様子が分かる
質問「10」	学校は、子どもの特別な教育的ニーズに応じた適切な対応をしている
質問「し」	しっかり考え学習する子である
質問「つ」	つながりを大事にする子である
質問「っ」	つよい体をつくる子である
質問「こ」	こころ配りのできるやさしい子である



学校評価アンケートへのご協力をいただきありがとうございました。前期アンケートの結果が出ましたのでお知らせいたします。

アンケートの評価が高い項目は、質問4・質問7でした。質問4の項目については、学校だより・学年だより（クラスによっては学級だより）を定期的に発行して、児童や学校の様子を発信していること、また、臨時休校や健康管理などで急なお願いをすることがありましたが、「まちcomiメール」や「ホームページ」で情報を発信したことに対する評価と受け止めています。質問7は、子ども同士や教師との人間関係が良好であったり、クラスが安心できる場であったり、教師が分かる授業に努めていたりすることを評価いただいていると考えます。

一方、評価の低い項目は、質問2・質問10でした。質問2に関しては、これまで学校と家庭（保護者）、学校と地域の連携を進めてまいりました。しかしながらこのコロナ禍において、今年度は、あらゆる行事が中止となっているため、学校・家庭（保護者）・地域と一緒に活動する機会がほとんどないことが、その要因かと思われます。それを裏付けるように、多くのコメントの中にも、そのような声がたくさんありました。世の中の状況は、依然、予断を許さない状況が続いております。こうした状況を見極めながら、今後も連携の機会を模索してまいります。質問10に関しては、本校では特別支援教育コーディネーターが各担任と連携し、子どもたちの特別な教育的ニーズに応じた支援を行っております。日常の行動観察はもとより、保護者の方からのご相談やご要望に応じ、児童の困り感に寄り添った支援を行い、多くの成果をあげています。しかしながら今回の結果を見ると、取組そのものや、取組の周知がまだまだ不十分であったと受け止めています。今後も引き続き、努力してまいります。

前述のとおり、今回寄せられたコメントの多くが、授業参観を始めとする学校行事の中止に対するものでした。賛否両論ありますが、中には他市や近隣校との比較をもとにされたコメントもあります。もちろん本校の行事を決定するうえで、近隣校の動向は必ず情報収集します。そのうえで、行事の目的（この行事を通して子どもたちにつけさせたい力は何か）を設定し、その目的を達成させるための手段として、一番感染リスクが少ない方法は何かを検討しています。志津小の判断は、何よりも子どもたちの健康と安全を最優先した決断です。このことを多くの保護者の皆様にご理解いただき、皆様の声にもお応えしながら、教育活動を進めてまいります。

今後ともよろしくお願いたします。